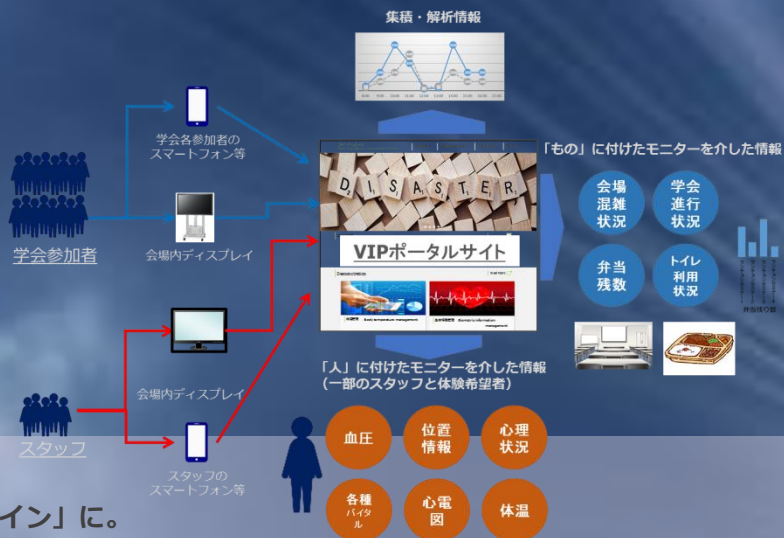


救急医療ならびに災害医療の現場において、  
多職種・多機関の多面的な協働が不可欠です。

我々はこの課題を解決するために、  
学会会場を災害時の仮想都市に見立て、  
IoTを駆使した情報プラットホームを試作いたしました。

講演会場は「救急外来」に、お弁当は「医療器材」に、  
一部スタッフの生体情報は「搬送中の救急車内のバイタルサイン」に。  
各社、様々なコンテンツを用意しております。  
学会に参加している皆様が、  
自身のスマートフォン等でリアルタイムな情報を閲覧できることを目指しました。  
是非、本邦初のプラットフォームにお立ち寄りください。



VIPプロジェクト発起人

東京大学大学院医学系研究科 救急科学 森村尚登

東洋大学情報連携学部 INIAD学部 坂村 健

東京大学大学院医学系研究科 医療情報学 大江和彦

# VIP PROJECT

Virtual emergency/disaster medical Intelligence Platform

学術集会会場を仮想都市・被災地域に見立てた  
救急・災害医療情報プラットフォーム構築の試み

【日程】

2018年2月1日 (木) ~3日 (土)

【場所】

パシフィコ横浜 会議センター 1階~5階  
第23回 日本集団災害医学会総会・学術集会(同時開催)

参画企業：

株式会社NTTドコモ／日本総合システム株式会社／株式会社リコー／凸版印刷株式会社  
／日本光電工業株式会社／バース・ビュー株式会社／株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

学術集会会場を仮想都市・被災地域に見立てた  
救急・災害医療情報プラットフォーム構築の試み  
Virtual emergency/disaster medical Intelligence Platform  
情報の利用規約

(本規約の適用・目的)

- 第1条 この規約は、東京大学「学術集会会場を仮想都市・被災地域に見立てた救急・災害医療情報プラットフォーム構築の試み」(以下「本プロジェクト」と総称する。)において、学会事務局(東京大学大学院医学系研究科救急科学 〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1)(以下「事務局」と総称する。)及び本プロジェクトに参加する企業(以下「参加企業」と総称する。)が利用する情報について必要な事項を定めるものです。
- 2 本プロジェクトは学会の会場を仮想都市に見立て、IoT技術により第23回日本集団災害医学会総会・学術集会への来場者(以下「来場者」と総称する)から生体情報及び位置情報、施設・設備情報等を収集、共有することで、実災害時に被災者の早期発見や最適な医療活動に活用できるか検証するものです。
- 3 参加企業は、本プロジェクトの目的、実施内容に関し、本規約の内容を十分に理解するとともに、これを遵守するものとします。

(利用対象の情報)

第2条 本プロジェクトにおいて利用される情報は次の通りです。個人情報の取得は行いません。

- (1) 生体情報①、映像を組み合わせたデモンストレーション
- ① 来場者から取得された体温、SP02
  - ② 映像
- (2) 生体情報②、映像を組み合わせたデモンストレーション
- ① 来場者から取得された血圧
  - ② 映像
- (3) 位置情報、心理情報を組み合わせたデモンストレーション
- ① Beaconタグを利用した各フロアの事務局スタッフの合計数(スタッフの識別は含まれません)
  - ② 脳波計測デバイスを利用した事務局スタッフの心理情報
- (4) 映像共有によるデモンストレーション
- ① 学会会場の各所に設置されたカメラ映像
- (5) 位置情報によるデモンストレーション
- ① Beaconタグを利用した各会場の来場者の合計数(来場者の識別は含まれません)
- (6) アンケート情報を用いたデモンストレーション
- ① 本プロジェクトWEBサイトを通じて収集された匿名アンケート
- (7) ランチョンセミナー弁当数管理のデモンストレーション
- ① ランチョンセミナー向け弁当の配布残数
- (8) トイレ利用情報を用いたデモンストレーション
- ① 各所トイレにおける個室ドア扉が閉じている合計数
- (9) 参加企業展示ブースにおけるデモンストレーション
- ① デモデータ
  - ② 参加企業スタッフの心拍数

(取得情報)

第3条 本プロジェクトにおいて利用される情報の中で、来場者から取得される情報は第2条の(1)①、(2)①、(5)、(6)が該当します。

(取得は行わない情報)

第4条 本プロジェクトにおいて利用される情報の中で、来場者からの取得は行わない情報は第2条の(1)②、(2)②、(3)、(4)、(7)、(8)、(9)が該当します。(1)②及び(2)②及び(4)の映像は会場内でのリアルタイム配信のみに利用され、取得(録画)は行いません。

(用語の定義)

第5条 本規約において使用する用語の意義は、次のとおりとします。

- (1) 本プロジェクト  
東京大学「学術集会会場を仮想都市・被災地域に見立てた救急・災害医療情報プラットフォーム構築の試み」をいいます。第23回日本集団災害医学会総会・学術集会において実施します。
- (2) 事務局  
学会事務局(東京大学大学院医学系研究科救急科学 〒113-8655 東京都文京区本郷7-3-1)をいいます。
- (3) 来場者  
第23回日本集団災害医学会総会・学術集会への来場者をいいます。
- (4) 参加企業
- ① 株式会社NTTドコモ
  - ② 日本総合システム株式会社
  - ③ 株式会社リコー
  - ④ 凸版印刷株式会社
  - ⑤ 日本光電工業株式会社
  - ⑥ パーズ・ビュー株式会社
  - ⑦ 株式会社エヌ・ティ・ティ・データ

(問合せ先)

第6条 本プロジェクトに関する問い合わせは事務局にて対応します。